

夕刊日四十月五



定価一冊五錢... 發行所 常磐毎日新聞社

李官堡の激戦と

大越中佐の戦死に就て (十)

岡本少将閣下御前講演

然れも竹内聯隊長は其心事を深謝せられたりも我は此明かなる死を命するに忍びずと流涕獨り潜々たり

當時は三軒屋は既に敵手に落て狙撃愈々密にして真に一走狗と雖も到底脱出を許さざるの状況にありまし

三月七日午後六時三十分 李官堡南方無名部落西方畑地に於て 大越少将 述懐書

然るに残念ながら途中に於て負傷し此目的を達する能はざりしは返す可くも遺憾の極みなり

藤沼醫院 科病柳花科兒小科内 院醫沼藤 應需院入

看護婦急派の求めに應じます 平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

時計眼鏡 トキワヤ トキワヤ 平一電三三九

DOG E 新車御披露 御國の爲の三勇士三九二タクシー客の爲 獅子吼の勢で真先に亦も高級車着荷 一九三二年最新型高級車 ダッチブラザーズ號ウリトラセタン 是非御愛乗願します... 斯界のナンパーワンは 三九二タクシーダッチ 平町一丁目 三九二タクシー 電話 四三九九二番

不幸廢學の生徒に 給費する機關

磐中校長が篤志獎學會組織

中途退學を救ふ

縣立磐城中等學校は明治廿九年四月創立され既に卒業生を社會に送り出す事三千十七名に達して居るが

現在の生徒數は實に一千一百九十八名を算し生徒數の多い事は同校創立以來未曾有の事であり且つ東北第一を唱へられ全國に於ても有數の位置にある然るに同校に於ける中途退學

生徒は年々増加の傾向を呈し過去三ヶ年間の情況に依るに左記の如くである

- 昭和四年度 六二
- 同五年度 五九
- 同六年度 四九
- 同七年度 八

是等中途退學者の大半は家計困難に陥り授業料を納付し得ざる結果に依るものである事に鑑み橋本校長は此の不幸な生徒を廢學の悲運より救ひ出し首尾よく

中學を卒業せしめ健全なる中堅國民として國家社會の一員たらしめ度いと篤志獎學會なる特志團體を設け廣く會員を募集して不幸な生徒に給費する

獎學會の要領

篤志獎學會の要領は左記の如くである

▽普通會員は一人一口(一ヶ月金一圓)の獎學費を毎月廿五日迄に寄附するものとす

▽普通會員は一ヶ年を單位として寄附するものとす 但し本年は五月より來年三月に至る十一ヶ月とす

▽普通會員の募集は毎年

涙なくしては語れぬ

中途退學の實例

橋本磐中校長談

中途退學生徒の家庭が困難に陥つた原因を探究すると全く氣の毒に堪へないものがある二三の例を擧げると

炭礦界

不況の爲めに保護者が失職し辛うじて朝夕の糧を得るに過ぎざるに至つた

のや、両親共に石炭の行商を營み聊かの利益を求めつゝあるも賣掛回收が容易でなく遂に授業料を納め得なくなつたものもある又銀行恐慌の影響を受け

父の死に伴ひ家財を失ひ母の賃仕事に依つて一家七人の生計を營んで居た

その外細い煙を立てる手職を持つて居るが財界不況の爲めその職も思はずからず生徒は新聞配達を爲して學費を補つて居たが家計に追はれて授業料を納付し得ない者など誠に

同情に堪へない殊に

四年又は五年に至つて廢學せねばならぬ者の心中を察する時には全く涙なくしては語れないのであります

米先高を見越して共同販賣振はず

共同販賣振はず

石城郡神谷村農會では本日午後一時より同倉庫に於いて産米の共同販賣を行ふが米價の高値を呼んで居る昨今持米を抱へて居る大地主は一層の高値を見越して離さず八十俵内外と見られたり明日四倉の大浦農業倉庫の共販にも二百餘俵より集まらぬ模様である

肥を最も多く使用する稲作の肥料について殊の外甚しいので近く稲作肥料配合便覽を印刷して實費を以つて配布する事になつた

稲作の肥料

配合便覽

郡農會配布

石城郡農會では施肥改善に關して自給肥料の増殖並に金肥の施用に關しては最もその配合に留意せしめて居るがその使用について不合理的な点が多々あり經濟的にも不利を招いて居り特に金

保護者役員

母の會も催す

磐城中等學校保護者役員會は來る二十六日午前十一時より同校講堂に於て開かれるが本年度各方面の役員は左記の如く尙當日午後一時より母の會を催すと

- (平町)阿部政右衛門 永
- 山和平 猪狩庄平 酒井
- 清 中島十藏 津田達造
- 柴田徳治
- (内郷)大内民恵 佐藤一
- 菅原萬次郎 菅波忠治
- (夏井)鈴木藤重郎 松崎
- 登松
- (好間)緒方濱治 小野吉

砂防林設置

勿來に四丁歩

勿來町海岸四町歩に亘つて理想的砂防林新設のため十日縣山林課長が視察するところあつたが近く實現する氣運にあるので町當局ではこれが促進運動をなすことになつた

製氷組合

發會式舉行

平製氷株式會社が發起となり福島縣の製氷會社を一丸となす福島製氷工業組合の設立は最近具体化し既に發起届を縣に提出したので來る十六日福島市に於いて第一回の發會式を開催する事になつた

- 次 高橋武雄
- (平窪)田久彌七 鈴木應善
- (四倉町)杉原新吾 田中岩次郎
- (湯本町)藤原保治 長谷川憲太郎
- (小名濱町)小野晋平 高木保 遠藤俊一郎
- (植田町)大平菊治郎 小宅嘉久治
- (勿來町)赤津一 宮川富重
- 植田馬市が 石城郡十五日から 菊多方部植田馬市は縣の許可指令に接したので同商市場側に十五日から五日間開始する事になつた
- 砂防林設置 勿來に四丁歩 勿來町海岸四町歩に亘つて理想的砂防林新設のため十日縣山林課長が視察するところあつたが近く實現する氣運にあるので町當局ではこれが促進運動をなすことになつた
- 製氷組合 發會式舉行 平製氷株式會社が發起となり福島縣の製氷會社を一丸となす福島製氷工業組合の設立は最近具体化し既に發起届を縣に提出したので來る十六日福島市に於いて第一回の發會式を開催する事になつた
- 矢ヶ崎氏出張 農事試験神谷分場の矢ヶ崎技手
- 平町人事 回出生 胡麻澤四八白土豊氏長男 秀夫
- 四軒町一八泉田亮氏長女 智子
- 鐵冶町八鈴木只義氏長女 俊子
- 回婚 姻 石城郡神谷村宇上片寄片 寄保氏(三三)大工町一五 若松勝子(二六)
- 平職業紹介所報告 求人部 農夫 四十以下 年百圓 (夏井村某)
- 女中 三十迄 尋卒 給料面談(平町某)
- 農夫 五十以下 尋卒 月十圓(高久村某)
- 料理見習 十八迄 尋卒 月五圓(平町某)
- 回求職の部 女中 二十一才 尋四修 給料面談(茨城縣某)
- 新聞配達 十七才 高卒 給料面談(赤井村某)
- 給料面談(好間村某)
- 印刷工見習 十八才 佐賢卒給料面談(大浦村某)

小學教員の

月俸未拂

郡下に七ヶ村

悲劇 村有志から融通を受けて生活を支ふ

石城郡下に於ける小學校教員の給料未拂村は川前、永戸、箕輪、三坂、澤渡、田人、川部の七ヶ村に及んで居るが何れも五六ヶ月から二三ヶ月まで停滯し各教員は己むなく學務委員や村會議員等より融通を受け辛らうじて生活を支へ悲惨な状態を呈して居り今や郡下教育界に問題を捲き起さん形勢にある

朝鮮師團入營

十九日頃から

來る六月一日朝鮮第十九師團の各聯隊に入營する平町よりの左記入營兵は本月十九日頃よりポツ／＼入營の途につく筈であるが入營兵は左記の五氏である

- (七十四聯隊) 紺屋町瀧谷 新平 久保町永山一 沼田秀夫(七十五聯隊) 月見町大竹徳義(七十六聯隊) 三丁目山田均三郎

雄辯會の

佑賢辯士

平町城山磐城佑賢學舎にては既報の如く來る二十七日學生雄辯大會を開催するが當日の辯士は左記の如くである

- (鐵兜の下に) 金昌植(守れ農村) 野内末光(起てよ青年) 柳内正己(汝の若き日に備へよ) 小野善

裁判件比較 縣下各裁判所の去月中事件受付數は民事が三位督促が四位である

- (民事) 福島七六 若松七五 平四一 郡山三三 白河二九
- (督促) 福島四四一 若松二三四 白河二一九 平一七一 郡山一三三

春蠶掃立

平も減少

平町役場が調査した平町に於ける春蠶掃立は既に七日頃より始まり去る十二日頃を以て一段落を告げた模様であるが今年の掃立豫想數は四百九十六グラムで三年度の五百一十一グラムよりは十五グラムを減じて居る原因は矢張り糸價の變動を恐れて手控の結果であると

學ぶ心にや

花が咲く

校歌と共に……

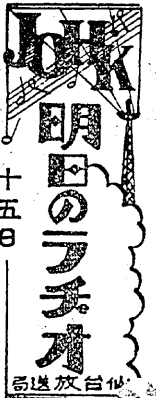
大内教師が作る

忠孝立憲能働の 健學の主義明かに 吾等に負へる大使命 いでや磐陽一角に 警世の鐘をつかんな あれ見よ櫻の咲く丘は 心の故郷吾が母校 集合離散人變る さはあれ理想の大道に 『佑賢』其の名を讀えつゝ いざ起て行かん諸共に

△校歌

白雲なびく城山に 文華の市井を低く見て 刻苦研鑽絶間なき 吾等が學舎佑賢の 健兒の意氣や高らかに 理想の光を仰ぐかな 2 君よ知らずや佑賢の

山は城山ホィー



明日のラジオ

今夜も明日も 南東の風曇り 雨模様

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間 音楽物語「モーツァルト子守歌」鹽入龜輔
- 後七、三〇 軍歌の夕 講演「軍歌源泉の飛洗」永井健子
- 後八、〇〇 軍歌合唱 後八、三〇 海軍々歌(東京日比谷公園新音楽堂陸海軍々樂隊合同演奏會場より中継)指揮並解説樂長福喜多鎮雄

明日の部

- 後九、〇〇 陸軍々歌 右に同じ
- 後九、三〇 奉天より 氣象通報 番組預告
- 前九、一〇 榮養料理「木の芽田樂」甘藷の切り胡麻かけ」榮養研究所
- 前九、三〇 子供の時間 お話「マーキユリ」平井泰次郎
- 前一〇、〇〇 宗教講話

念祝賀展覽會に出品する爲め毎週金曜日二時間宛左の課目を特に研究すると

詐欺の金を資本に

東京で銘酒屋開業

分團表彰

新川町其他

東京市淺草區千束町一丁目二四の松本敬三(三)は去月十二日平町南町飲食店福好事渡邊トキイ方に茨城縣東茨城郡鯉淵村生れ大島ケサ(三)及び群馬縣桃井郡生れ阿久澤ワシ(三)の兩名を前借三百五十圓にて酌婦に住込しめ三四日過ぎて共謀の上行衛を誨して了つたので福好方の届出に平署が兩名を捜査中松本が平町で宿つた旅館より足が付き最近三名の者は各地で前借詐欺を働いて集めた金を以て東京市外三河島町に銘酒屋を經營して居る事判明平署の照會に依り去る十一日三河島署に檢舉昨十三日平署に押送された

消防を視察

平町第二ガソリン唧筒隊十六名は來る十六日早朝佐川小頭引卒の下にタクシー二臺に分乘し東京府下千住消防組及び東京警視廳消防訓練所を視察し即日歸平すると

虎眼とムシ歯

平町第一小學校生徒千五百四十九

兵事々務檢閲

既報 平、植田、富岡、浪江、原町二小野新町の各警署署兵事々務檢閲は今日十四日午前九時より平署會議室に於いて行はれたが執行官は横須賀鎮守府の富永少佐である

名の内トラホーム患者二十四名、齋藤罹患者八百六十四名ある由

駒場教官出發

平商業學校駒場教官は既報の如く明日より一週間新潟縣を中心として行はれる仙臺工兵第一大隊現地戰術參加の爲め本日午後三時三十分にて出發した

内郷凱旋祝賀

石城郡内郷村在郷軍人分會並に青年團では此程除隊歸郷せる十四名の凱旋兵を十五日午後一時より綴劇場に招待盛大なる歡迎祝賀會を催す事になつたと

「神社祭祀の根本」鹽釜神社司古川左京 前一〇、四〇 講演「最近に於ける義手足の發達」渡邊政徳 前一、一〇 詠曲講座 「詠の道しるべ」(十八)實演觀世左近 解説池内信嘉 後〇、五〇 運動競技「六大學野球試合状況」明大帝大(雨天順延) 後〇、五〇 ナンセンスレヂュー「ミス南洋」ビエルブリリヤント二村定一 森健治外大ぜい 後一、四〇 街頭演藝の午後「からくり」池本菊次外「地獄極獄」金林兼吉 金林うた「改良劍舞」中島政

幕末剣士

〔禁轉載上演及映畫〕

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

〔第五十席〕

眞庭念流達人櫻井五助

辨解して遣つた

高田の町の溜屋といふ飲食店へ上つたは村上主殿の若黨七郎次に下男の六藏、それは馬鹿六と綽名を取つた低能者、時に七郎次が七「六藏どうしておかめが俺を逃した事を且那は知つたナ」

六「それは知れるよ、悪事十里を走るといふ事もあつた」

七「悪事は千里だ」

六「ウン千里か、まあそんな事はどうでも宜いや知れた源は針と糸だ」

七「何だ針と糸とは」

六「針と云へば着物を縫ふものではねえか」

七「そんな事は云はずとも判つてゐる」

六「判つてゐるならば聞くには及ぶめえ」

七「理窟を云ひなさんナ」

六「恠ういふ譯なのだ、且那が土藏に行つて見るとお前が居ないや何處へ行つたらうと捜したが判らねえ、土藏の中で消えて無くなる理由はあるまい、是からが悪事千里だ、土藏の前に糸の付いた針が落ちてゐる、妙だナ訝しいではねえか」

七「ウーン且那がそれ、元

さんを伴れて来ると且那は額に青い筋を出し恐い目をして見たよ」

七「さうか、それからどうした」

六「酒が無くなつてしまつた」

七「今吩咐けて遣る、それから且那はどうした」

六「話は是からだ、何にしる酒を貰ふ事にしよう、俺は酒を飲まねえと喋るこゝとが出来ねえ」

七「おまへは馬鹿で人が悪い、オイ姐さんお酒を持つて来ておくれ、さア六藏それからどうなつた」

七「それは針女だ、着物を縫ふ雇女のことを針女といふ」

六「成程七郎次さんは物識りだ」

七「それでおかめは白状したか」

六「白状しないよ、わたくしは存じません、存じませんから知りませんと云つたが、これは尤もだ、知らねえ事は存じません、存ぜぬ事は知りません、誰に聞かしたとて差かしい事は無いところだ、且那はおかめさんの云ふ事をほんとうとは思はねえ、黙れッ貴様が逃がしたに相違無い、この糸には油の匂ひがあると云つた

七「それからおかめさん、出来た事は今更騒いだとて取返すことは出来ないから時に且那がおかめさんを見つめ

六「酒を見てから話すよ、オット来た、あ、良い酒だ、地で出来たものでは無下りだナ」

七「それからどうした」

六「騒ぐナ騒ぐナ、出来た事を今更騒いだとて取返すことは出来ないから時に且那がおかめさんを見つめ

七「お前は情が深いナ、な

七「それは且那の云ふ事は御尤もでございます、夕べわたしがおかめさんの部屋に行つた時仕事をし居りまして留に針を挿してゐましたと恠ふ言つてやつた」

七「馬鹿だナお前はそれで俺を逃して證人になつたも同様だ」

六「さうかね気が附かなかつた」

七「それからどうした」

六「肴が無くなつた」

七「よし、今吩咐けてや



歩貸せなどといふものか」

七「判らぬ奴だナそれからどうした」

六「追々千里が近くなつた且那は針に付いてゐた糸の匂ひを嗅でゐたが、六藏お前を此處へ連れて来い、早く連れて參れと恠う云ふんだ、それから俺がおかめ

七「お前は情が深いナ、な

七「それは且那の云ふ事は御尤もでございます、夕べわたしがおかめさんの部屋に行つた時仕事をし居りまして留に針を挿してゐましたと恠ふ言つてやつた」

七「馬鹿だナお前はそれで俺を逃して證人になつたも同様だ」

六「さうかね気が附かなかつた」

大塚の
学生靴!!!
耐久新製品
編上靴 六〇〇
半靴 五〇〇

不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を……
大塚支製靴部
電話七七番



大塚支製靴部
電話七七番

高久病院
院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
内科小兒科 平町田町 電話五一三番
耳鼻咽喉科 外科花柳病科
レントゲン科

りん病 永らく悩む人の福音
天下の名湯別府温泉で出来た無効返金責任藥
全圖知名新聞 こんなヨイクスリを未だ知らな
雑誌 推奨 い方がありませうか
右は岩里家古來よりの家傳秘法藥にして男女血らし
慢性淋病、こしけ、濁湯の病みは不思議に止り連服
するも絶對胃腸傷害なき各葉であります。
尙ほ此の藥は責任速効藥で二日内服して効なき時は
殘藥引換に全部異議なく返金します。
論より證據服藥した人は皆全快喜んで居ります。慢
性、悪性の人は七日以上服差して下さい。
美本淋病治療書無代進呈 此の新聞各記入申込者に
付前金申込者には送料無料、新品送藥す。
代金引換廿三錢手数料金納の事。
藥價 急性用(黒箱) 一週分 參圓
慢性用(赤箱) 一週分 五圓
特約一 平町古鍛冶町一〇
手販賣 阿康藥舖
縣社ノ下(電話四四番)